



マグカップの会

部会長：國米 家巳三

当稲門会の80代、90代の会員諸氏にとって居心地のいい部会が誕生しました。
令和元年11月20日発足した「マグカップの会」がそれです。

母校、早稲田を卒業して60年以上経過した会員を対象に、当稲門会本部は昨年からはマグカップを贈ることを制度化しましたが、それを受け取った会員の有志と賛同者があつまって結成したのがこの会です。当稲門会では15番目の部会という事になります。

会合は、年4回、午後1時から。昼餐をともにしながら、談論風発して活力を取り戻そうというのが狙いです。毎回、部会員は輪番で20分間のスピーチをおこないます。何を話そうと自由。天下国家を論じて結構、生涯を振り返り自らの来(こ)し方を語ってもOK。ただし、スピーチは強制されるものではなく、あくまで希望者の担当となります。この部会の会員は、もちろんマグカップ受領者が中心ですが、基本的には開放型の部会。当稲門会の会員であれば、どなたでも入会可能です。若い人たちも、やがてはマグカップを受け取る“マグ予備軍”ですから、志ある向きはどんどん入会して80年、90年を生きた文化財的な人材との交流を深めていただきたいものです。